

取扱説明書・取付説明書は必ずお客様に渡してください。

東芝天井吊形用 気化式加湿器 取付説明書

T C B - H S 5 0 2 C · H S 8 0 2 C · H S 1 4 0 2 C

取付に際しましては、この説明書をよく読み正しい取付が行われますようお願いいたします。

基本的な注意事項

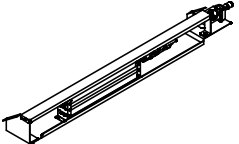
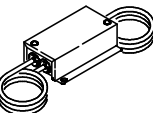
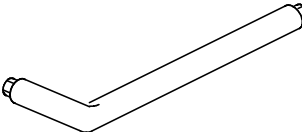
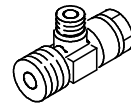
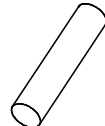
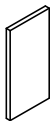
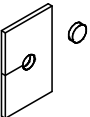





1. 加湿器の取付け工事は、必ずエアコン本体を据付ける前に行ってください。加湿器組み込み後の輸送はしないでください。
2. ヒューミディスタット〔23Hu〕（現地手配）は、湿度低下で接点が閉となる形式で接点容量200VA以上の物を準備してください。
3. 給水は水道法水質基準に準ずる飲料水を使用してください。保守管理のため現地手配の給水配管には、各加湿器ごとに給水ストレーナ（付属）・給水用サービスバルブ（現地手配）を設けてください。
4. 給水は公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン〔型式認可品〕（現地手配）をご使用ください。
5. 現地手配の給水配管にフラッシングバルブの取付をおすすめします。冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しない時は、給水配管内の水が腐ってしまいます。その水が加湿（暖房）シーズン開始時に加湿器に給水されますと匂いの発生・菌の繁殖の原因になります。加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、フラッシングバルブと給水用サービスバルブを開き、配管内を新しい水に置換えてから使用してください。
6. 使用給水圧力は0.05～0.5MPa・水温は5～30℃です。この範囲内でご使用ください。
7. 加湿（暖房）シーズン後は、給水用サービスバルブを必ず閉めて下さい。
8. 通気に腐食性ガス・塩分・オイルミストを含まないようにしてください。
9. シーズンイン時には、給水ストレーナの清掃を行ってください。
10. 現地手配の給水配管にも断熱処理を行ってください（断熱材現地手配）。給水配管内の水が凍結した場合、水の体積膨張により配管や接続部を破壊し、漏水の原因となります。

〔仕 様〕

機 種 名		TCB-HS502C	TCB-HS802C	TCB-HS1402C
適合室内 ユニット形名	店舗用 AIC-	P402H, AP402H (-1), AP404H P452H, AP452H (-1), AP454H P502H, AP502H (-1), AP504H P562H, AP562H (-1), AP564H	P632H, AP632H (-1), AP634H P712H, AP712H (-1), AP714H P802H, AP802H (-1), AP804H	P1122H, AP1122H (-1), AP1124H P1402H, AP1402H (-1), AP1404H P1602H, AP1602H (-1), AP1604H
	マルチ用 MMC-	AP451H AP561H	AP711H AP801H	AP1121H AP1401H AP1601H
		AP453H AP563H	AP713H AP803H	AP1123H AP1403H AP1603H
電 源		単相200V 50/60Hz		
周 囲 温 湿 度		加 湿 器 本 体 : 5℃~60℃ 90%RH以下 リレーボックス : 5℃~40℃ 80%RH以下		

部品構成

下記の部品で構成されておりますのでお確かめください。

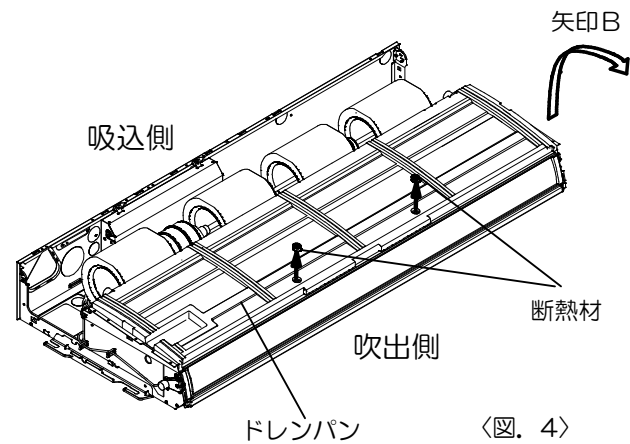
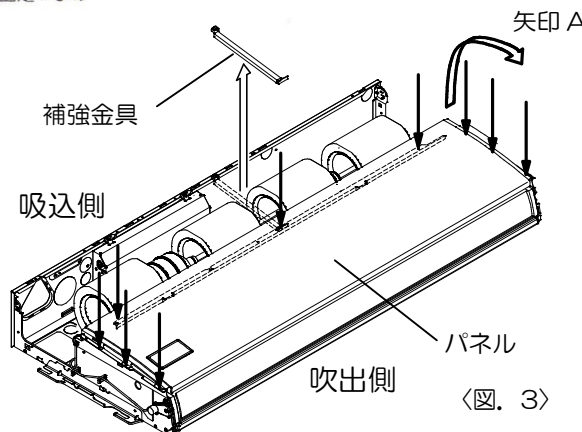
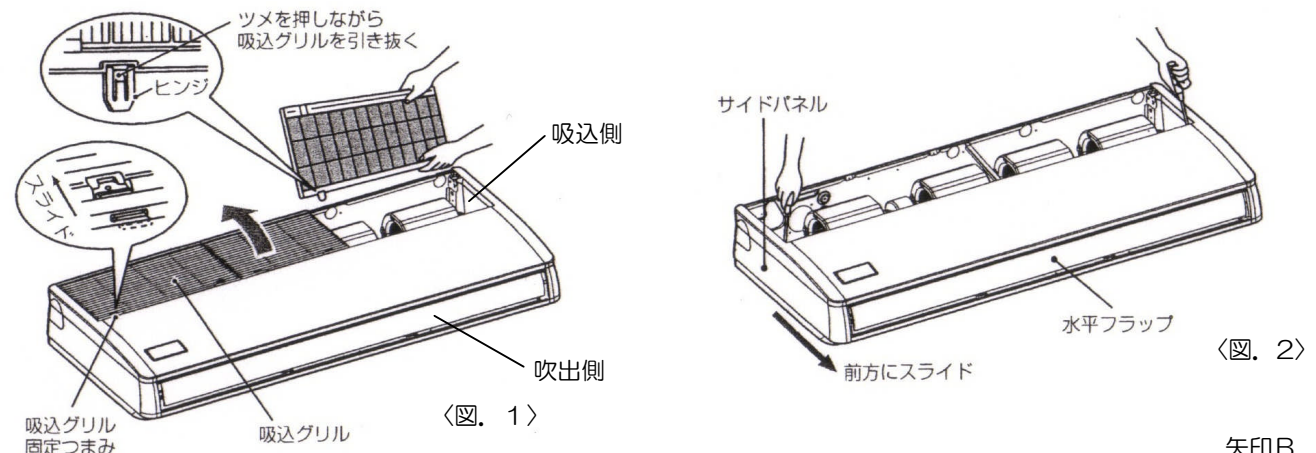
説明書類		加湿器本体		リレーボックス		給水軟銅管		給水ストレーナ		チューブ	
・本書 ・取扱説明書 ・取付および取扱い時の 安全上のご注意											
リングナット用 断熱材	ストレーナ用 断熱材	固定バンド	短絡コネクタ	結束バンド	閉端接続子	真ちゅう リング	取付ねじ				
			 (白)				タッピングねじ φ4×8L×2本				

取付手順

加湿器の組み込みは、必ずエアコン本体を据付ける前に行ってください。

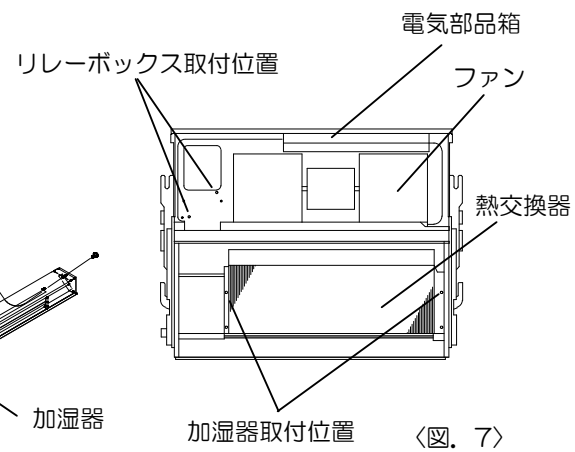
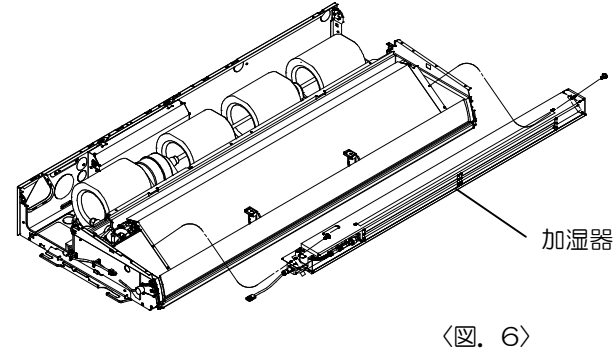
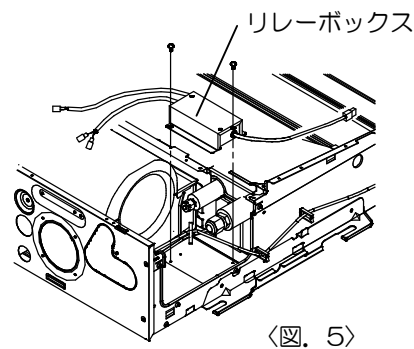
エアコン、ドレンパンの取り外し

1. エアコンの吸込グリルを取りはずします。吸込グリル固定つまみ（2 ヶ所）を矢印方向にスライドし、吸込グリルを開きます。吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジ（2 ヶ所）のツメ部を押して吸込グリルを引き抜いてください。〈図. 1〉
2. サイドパネルを取りはずします。サイドパネル固定ねじ（左右各 1 本）をはずした後にサイドパネルを前方にスライドし取りはずしてください。〈図. 2〉
3. パネル固定ねじを取りはずしてください。補強金具が付いている場合はこれもはずしてください。パネルの吹出側はドレンパンに引っかけて固定しています。パネルは図.3 の矢印 A のように上に持ち上げ吹出側にスライドしてははずしてください。〈図. 3〉
4. ドレンパンを取りはずすために、円形の断熱材をはがし、ねじをはずしてください。ドレンパンは吸込側の板金に引っかけて固定しています。図.4 の矢印 B のように爪をはずしながら上に持ち上げてははずしてください。（はがした断熱材は再利用するため無くさないでください。）〈図. 4〉



加湿器の組込

1. エアコンのリレーボックス取付位置にリレーボックスを付属のねじ（φ4タッピングねじ）2本で取りつけてください。〈図. 5〉
2. エアコンの熱交換器固定ねじ（2ヶ所）をはすし、加湿器を熱交換器と共締めしてください。〈図. 6〉



裏面に続く

裏面に続く

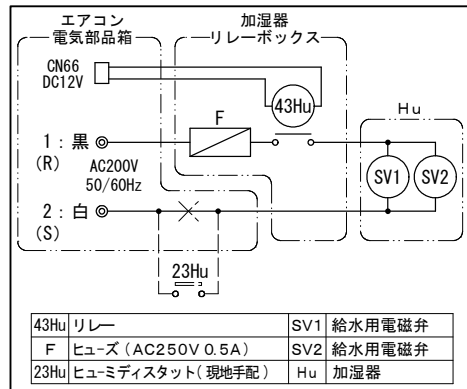
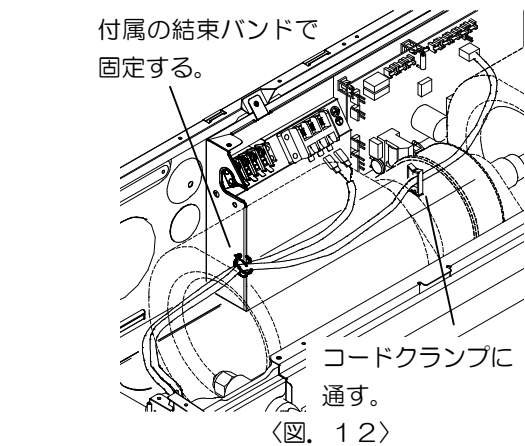
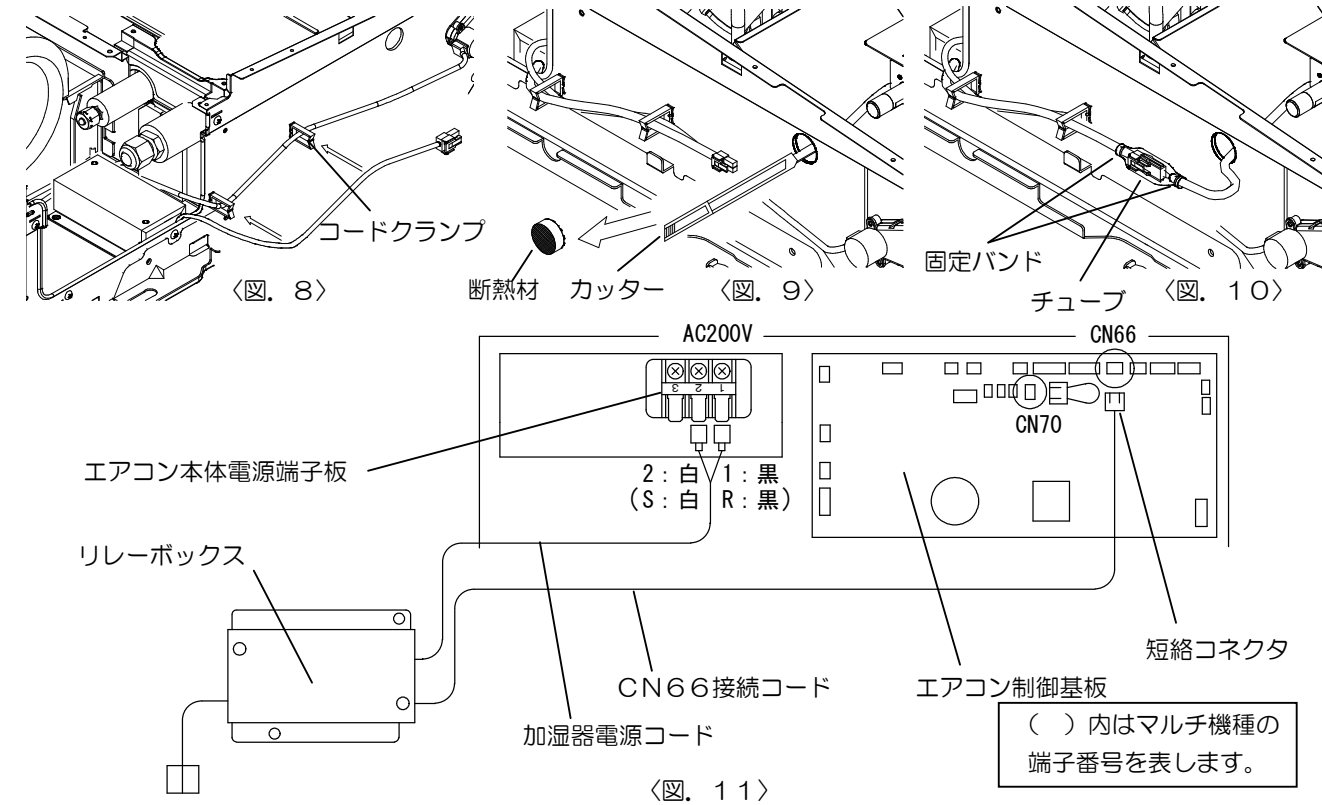
電気配線

1. リレーボックスから出ている電磁弁接続コード（SVマークチューブ）をエアコンの側面にそって引き回し、エアコン側面のコードクランプで固定します。〈図. 8〉
2. エアコンの側面の断熱材を穴にそって切り抜き、加湿器側の電磁弁接続コードをエアコン本体外へ取り出します。〈図. 9〉
3. チューブをいずれか片方のコードに通し、リレーボックス側のコネクタと加湿器本体から出ているコネクタを接続します。（カチッと音がするまで確実に差込んでください。）コネクタ部にチューブをかぶせ、両端を固定バンドで固定してください。〈図. 10〉
4. 電気部品箱のカバーを固定しているねじをゆるめて、カバーをはずしてください。
5. リレーボックスから出ているCN66 接続コードをエアコン制御基板上の『CN66（Hu）・2P』コネクタに接続します。〈図. 11〉
6. リレーボックスから出ている加湿器電源コードをエアコン本体電源端子台「AC200V 電源」に接続します。
7. 付属の短絡コネクタをエアコン制御基板上の『CN70（F I L T E R）・2P』コネクタに差し込みます。

⚠ 短絡コネクタは必ず差し込むこと。結線しないと、水漏れの原因となります。

⚠ 電気配線作業は配線材に傷を付けないようにおこなうこと。
配線材に損傷があると、動作不良や発熱・火災の原因となります。

8. 加湿器電源コードとCN66 接続コードをエアコンの電気部品箱内のコードクランプを通して付属の結束バンドで固定してください。〈図. 12〉
9. ヒューミディスタットをご使用になる場合は、加湿器の電気結線図を参考に加湿器電源コードのリード線（白）を切断し、付属の閉端接続子に接続してください。なおヒューミディスタットおよび配線材（0.75mm²以上）は現地手配です。〈図. 13〉

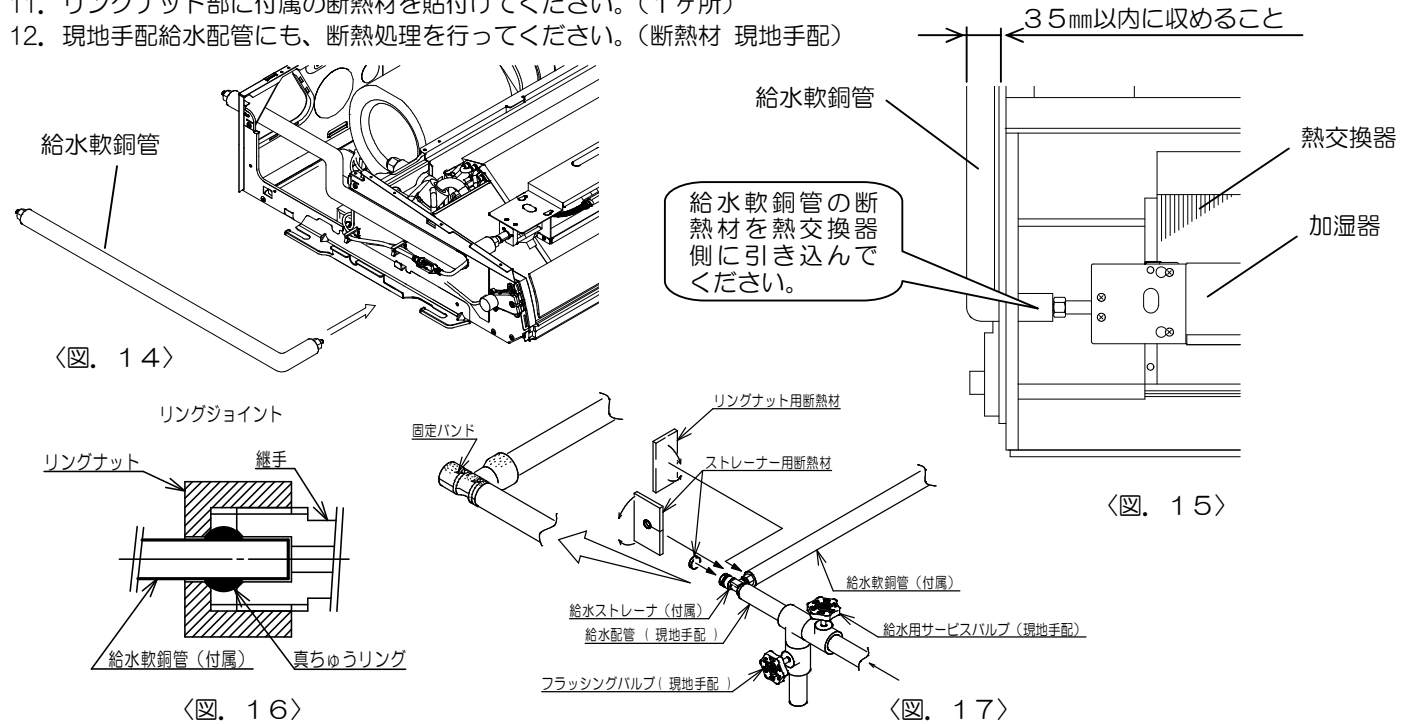


給水配管

1. 付属の給水軟銅管内にゴミが入っていないことを確認してください。
2. エアコン側面に開けた穴から給水軟銅管をエアコン本体内に引き込み、加湿器本体の給水口に給水軟銅管を接続してください。接続はリングジョイント式です。〈図 16〉を参照の上接続してください。（ダブルスパナ使用・締付けトルク 10～15N・m 程度）給水軟銅管は図. 15 のように本体から 35 mm 以内で成形してください。〈図. 14、15、16〉
3. ドレンパン、パネルを取り外した逆の手順で確実に取り付けてください。ドレンパンの断熱材は忘れずに取り付けてください。
4. エアコンの据付説明書に従ってエアコン本体を据付けてください。
5. 現地給水管内の油分・塵埃などを除去するために、配管接続前にバケツなどで水を受けながら、十分なフラッシングをおこなってください。

⚠ 配管内のフラッシングは必ずおこなうこと。
フラッシングが不十分だと、加湿材が濡れなかったり、異臭の原因となる場合があります。

6. 付属の給水ストレーナ〔接続部は R1/2（1/2 おねじ）〕を現地手配の給水管に接続してください。〈図. 17〉
7. 〈図 17〉に従って現地手配の給水配管をしてください。接続はリングジョイント式です。〈図 16〉を参照の上接続してください。
8. 給水ストレーナに給水軟銅管を接続してください。（ダブルスパナ使用・締付けトルク 10～15 N・m 程度）給水配管の施工上付属の軟銅管を切断する場合は切断後、付属の真ちゅうリングを使用し接続してください。
9. 水漏れ確認を行ってください。
10. 給水ストレーナに付属の断熱材を取付け、付属のバンドで固定してください。
11. リングナット部に付属の断熱材を貼付けてください。（1ヶ所）
12. 現地手配給水配管にも、断熱処理を行ってください。（断熱材 現地手配）



試運転

- ・電源スイッチを入れてください。
- ・給水用サービスバルブを開けて通水してください。
- ・エアコンの運転スイッチを「暖房」にしてください。
- ・温度設定を希望の温度にします。
- ・ヒューミディスタットの湿度設定目盛を最大にします。
- ・運転／停止ボタンを押します。暖房運転と加湿運転を開始します。
- ・運転を停止するには再び、運転／停止ボタンを押します。
- ・暖房（加湿）運転開始後、30分ほど運転し、エアコン吹出口より加湿モジュールの加湿材が一樣に濡れていることを確認してください。
- ・ヒューミディスタットの設定を変化させて、加湿器のON、OFFが正常であることを確認してください。
- ・加湿器の運転は圧縮機とインタロックしていますので、圧縮機が停止している時は加湿器も停止します。

⚠ エアコン設置後は、元電源は入れたままにすること。
万一、給水用電磁弁がゴミかみ等により閉じなくなった場合の水漏れを防止します。

東芝キヤリア株式会社